

2月28日(火)金沢ニューグランドホテルにて、第1504回通常例会が開催されました。

松尾会長の挨拶では、春はもうすぐの気候です。まず悲しいお知らせですが、大垣ライオンズクラブの祢宜泰紀L.がご逝去されましたことにお悔やみ申し上げます。

本日の講話ですが、神社のことはあまり分からないので、今日の話を楽しみにしております。また今日は選挙例会ですが、細川L.を始めとしたしっかりとした次期の理事会メンバーだと思います。2月26日に教育会館にて写生大会の表彰式を行いました。最優秀賞を受賞した佐々さんの作品も素晴らしいのですが、挨拶もまた素晴らしくて、ボランティアして良かったと述べられました。



会員委員長の内山L.からは選挙例会での指名委員会の役割、メンバー構成の説明があり、次期理事会メンバーの紹介がありました。

次期会長の細川外茂治L.の挨拶では、身の引き締まる思いです。14年前に入会、動機は ぼけ防止の為に自分に負荷をかけたい、社会にご恩返しをしたいとの思いがありました。

73歳になり、最長老になりました。皆様のご協力なくしては運営できないのでよろしくお願い致します。そして「ふきのとう 残雪まけず 頭出し」と俳句で締められました。



各種報告事項で堀岡L.より全国アラートフォーラムの報告があり、災害があったときは まず自分の安全の確保を優先して、家族の安全、友人の安全、ボランティアの方々の安全の順にお願いしますと述べられました。

本日のゲストスピーカーは波自加彌神社 宮司 田近章嗣さんでした。

「はじかみ」とは「生姜、山椒、山葵」など香辛料全般を指す古語であり、古くから調味料として料理

に使われ、その薬効から漢方薬としても使用されてきました。そのため当社は健康長寿、料理上達にご利益があるとされています。

6月15日は「はじかみ大祭」で県内外より香辛料の製品を扱う企業、飲食店の方々より奉納が多数あります。中でも永谷園さんのおかげで2009年6月15日が生姜の日になりました。



石川県内には1180神社、金沢市内には308神社あり、宮司は50人で兼務掛け持ち状態です。

波自加彌神社は江戸時代から続く神主の免許状があります。これは金沢でも10社しかなく 真の神社といえます。免状は和紙に墨で書かれており、永久に残ると思います。当時は免状を貰うのに40両位で、現在だと30万円位です。今も昔もお金次第です。

続けて、トイレの神様の話があり、宝船に七福神が描かれたためたい版画が暮らしの博物館でもらえる話、トンビに姿を変えた天狗をいじめから救い、感謝のしるしに妙慶寺の櫓から大の月、小の月の八角の暦板を作り、商売繁盛になった話、「だらなあんま」の話など笑いに包まれた講話になりました。

続いて嶋崎テールツイスターが登場し、3月2日は金星と木星が最接近するので見てくださいと報告があり、今回例会無事終了いたしました。

## ◇アクティビティー便り◇

2/26(日)石川県教育会館において、2022年度青少年卯辰山写生大会の表彰式が行われました。



小学生を対象にした公募の中で、審査された作品はどれも優秀な作品でした。

最優秀賞を受賞された佐々さんの「実際に描いてみて、卯辰山には四季其々の色があるのに気づいた」という言葉が印象に残った表彰式でした。

